

9 家族との運動・スポーツ

9-1 家族との運動・スポーツ実施状況

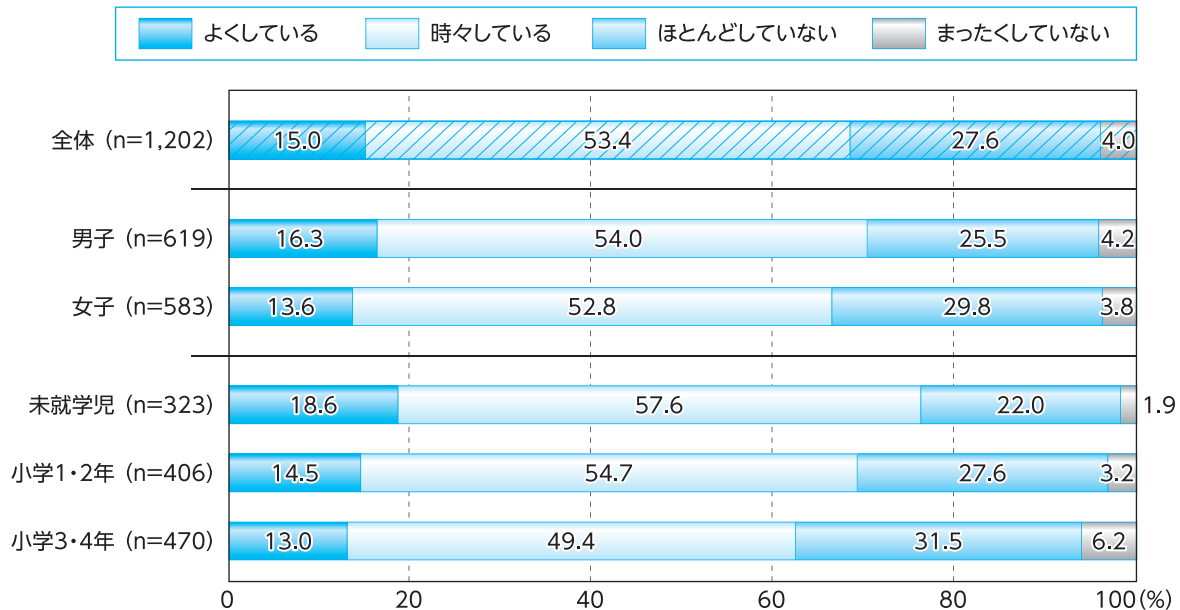
4歳から9歳の回答者の保護者に、「調査をお願いしたお子様は、普段家族と一緒に運動・スポーツ・運動あそびをしていますか」とたずね、「よくしている」「時々している」「ほとんどしていない」「まったくしていない」の4段階で回答を求めた。全体では、「よくしている」15.0%、「時々している」53.4%、「ほとんどしていない」27.6%、「まったくしていない」4.0%であり、4歳から9歳の子どものおよそ7割が家族で運動・スポーツ、運動あそびを行っていた(図9-1)。

子どもの性別でみると、「よくしている」と「時々している」の回答を合わせた割合は、男子では70.3%、女子では66.4%であり、男子が女子を3.9ポイント上回る。

就学状況別にみると、「よくしている」と「時々している」の回答を合わせると、未就学児76.2%、小学1・2年69.2%、小学3・4年では62.4%と、学年が上がるにつれて家族と運動・スポーツ、運動あそびをしている割合は減少する。

図9-2に子どもの性別・就学状況別にみた家族との運動・スポーツ、運動あそびの実施状況を示した。「よくしている」と「時々している」の回答を合わせた割合は、男子では未就学児72.7%、小学1・2年71.5%、小学3・4年66.9%であり、学年が上がるにつれて減少する。女子では、未就学児80.3%、小学1・2年66.5%、小学3・4年58.2%と、男子と同様に学年が上がるにしたがって家族と運動・スポーツ、運動あそびをしている割合は減少するが、その傾向は男子よりも顕著であった。

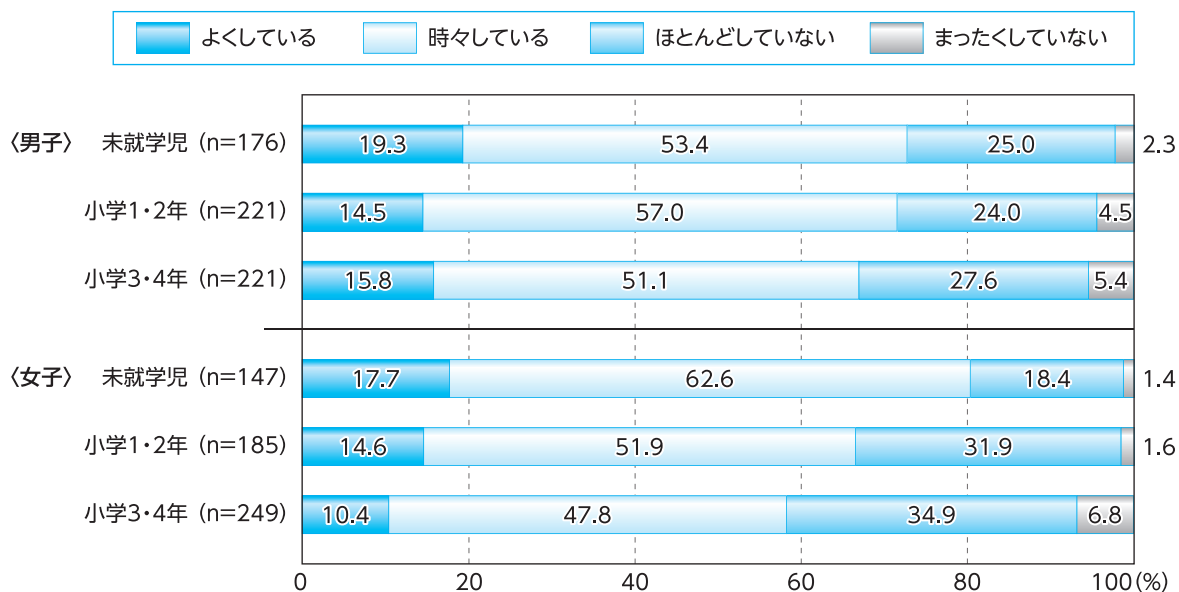
子どもの運動・スポーツ実施頻度群別にみると、「よくしている」と「時々している」の回答を合わせた割合は、非実施群0.0%、低頻度群65.1%、中頻度群66.8%、高頻度群72.0%であり、運動・スポーツ実施頻度が高い者ほど、家族と運動・スポーツ、運動あそびを実施している割合も高かった(図9-3)。



【図9-1】 家族との運動・スポーツの実施状況 (全体・子どもの性別・就学状況別)

*兄弟・姉妹は除く

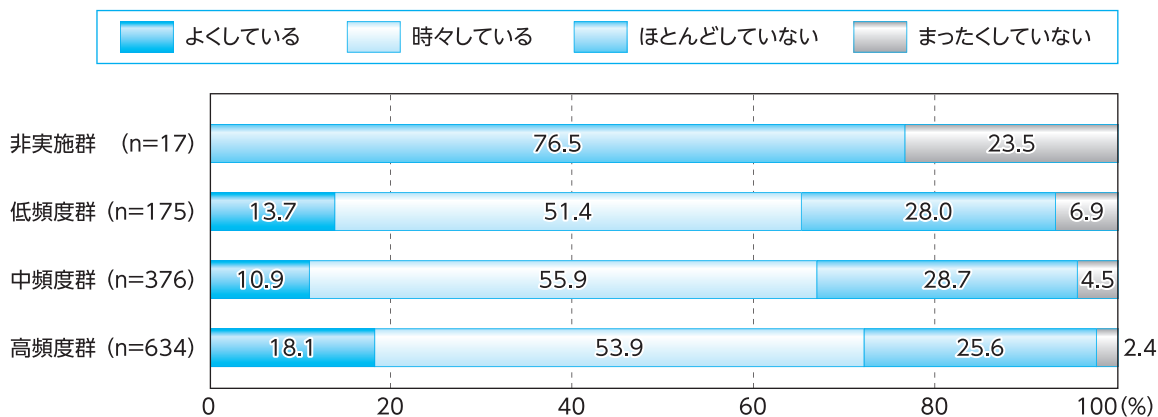
資料：笹川スポーツ財団「4～9歳のスポーツライフに関する調査」2013



【図9-2】 家族との運動・スポーツの実施状況(子どもの性別×就学状況別)

*兄弟・姉妹は除く

資料: 笹川スポーツ財団「4～9歳のスポーツライフに関する調査」2013



【図9-3】 家族との運動・スポーツの実施状況(頻度群別)

*兄弟・姉妹は除く

資料: 笹川スポーツ財団「4～9歳のスポーツライフに関する調査」2013

9-2 一緒に運動・スポーツをする家族

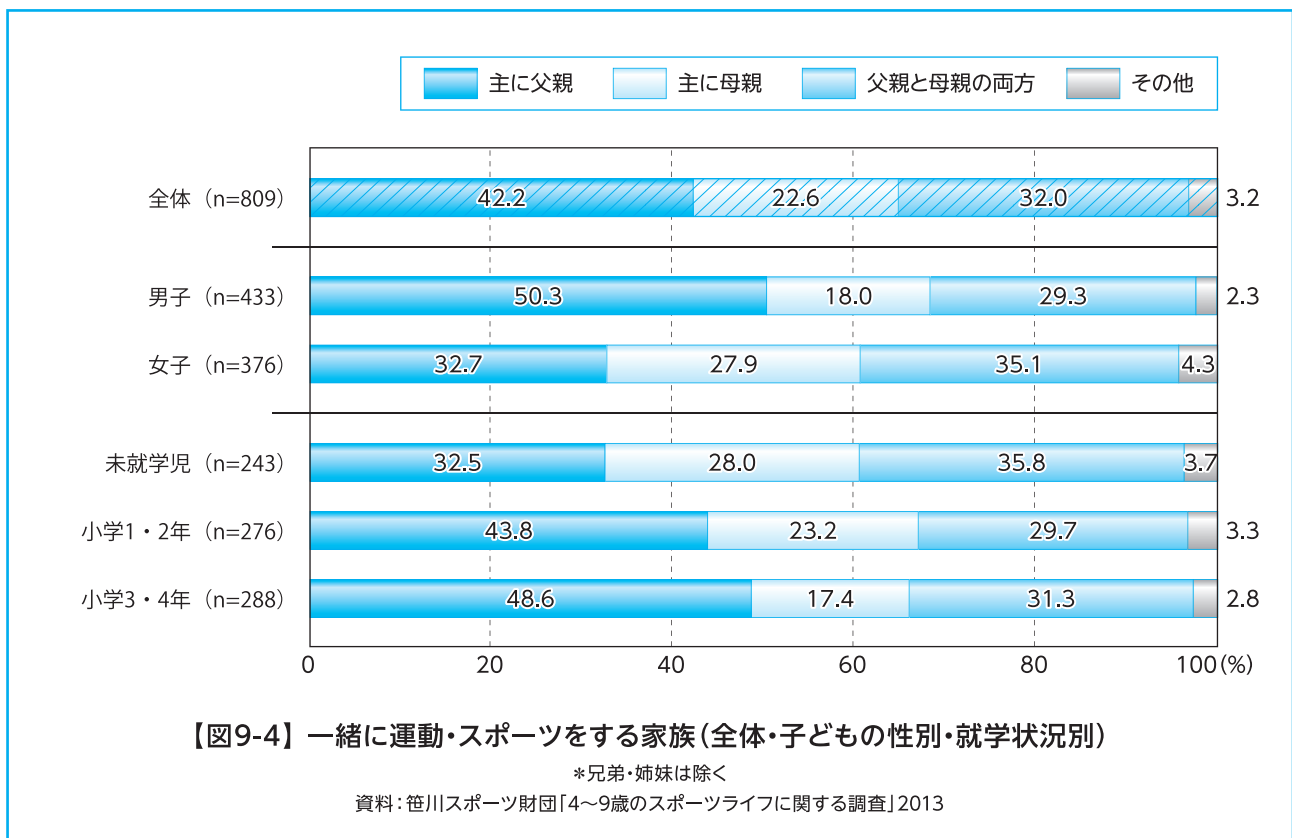
普段家族と一緒に運動・スポーツ・運動あそびを「よくしている」「時々している」と回答した者を対象に、主に誰と実施しているかをたずねた。

全体では「主に父親」42.2%が最も多く、次いで「父親と母親の両方」32.0%、「主に母親」22.6%であった(図9-4)。

子どもの性別でみると、男子では「主に父親」が最も多く、50.3%と半数を占めた。次いで、「父親と母親の両方」29.3%、「主に母親」18.0%であった。女子では、「父親と母親の両方」が最も多く35.1%、次いで「主に

父親」32.7%、「主に母親」27.9%であった。男子では父親、女子では父親と母親の両方との運動・スポーツ、運動あそびの機会が多く、運動・スポーツ、運動あそびを一緒に行う家族に性差がみられた。

就学状況別にみると、未就学児では「父親と母親の両方」が最も多いが、小学生になると「主に父親」となる。「主に父親」の割合は、未就学児32.5%、小学1・2年43.8%、小学3・4年48.6%と学年が上がるにつれて増加するが、一方で「主に母親」は未就学児28.0%、小学1・2年23.2%、小学3・4年17.4%とその割合は減少する。



9-3 子どもと保護者の運動・スポーツ実施

保護者自身（父母）の日常的な運動・スポーツ実施状況と子どもの運動・スポーツ実施頻度との関連をみた。保護者の運動・スポーツ実施状況については、「よくしている」「時々している」「ほとんどしていない」「まったくしていない」の4段階でたずねた。

保護者（父母）が運動・スポーツを「よくしている」場合の高頻度群は、父親53.4%、母親66.1%であるのに対し、「まったくしていない」場合では父親45.1%、母親43.0%であった（図9-5）。また、保護者（父母）が運動・スポーツを「まったくしていない」場合の非実施群は、父

親5.2%、母親4.5%であり、およそ5%を占めた。保護者（父母）が日常的に運動・スポーツを行っている子どもほど、運動・スポーツの実施頻度は相対的に高くなっており、その傾向は父親よりも母親の運動・スポーツ実施状況において顕著な違いがみられた。

また、父親と母親の運動・スポーツ実施と子どもの運動・スポーツ実施頻度群との間には有意な関連性が認められ、保護者自身の運動・スポーツ実施が子どもの運動・スポーツ実施と深く関わっている状況がうかがえる。

